一般社団法人　勝浦市シルバー人材センター

あじさい

第28号
2017年1月

川越の旅です～今年もよろしくお願いします～

環境を守るも活かすも一人ひとりの
心がけ、力合わせて繋ごう豊かな自然

謹賀新年

会長
高梨 文男

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、穏やかで健やかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年の総会におきまして、引き続き会長を仰せ付かり、こうして皆様とともに新年を迎えられましたことはひとえに皆様方のご支援・ご協力の賜と心より感謝申し上げます。

さて、昨年は東日本大震災からの復興も次第に進む中起きました熊本地震や台風、集中豪雨など自然災害の怖さを改めて思い知らされた年でもありましたが、明るい話題といたしましては、日本人3年連続となりますノーベル賞受賞やリオデジャネイロオリンピック・パラリンピックでの日本選手の活躍に喜び感動したのも記憶に新しいところでございます。

一方、少子高齢化が一段と進む中、とりわけ、勝浦市では65歳以上の高齢者が人口の4割を占めておりますことから、高齢者の生きがいづくりの場の創出と労働人口の確保の両面からセンターが地域で果たす役割は大きいものと考えております。

また、国の経済施策でも、「ニッポン一億総活躍プラン」の中でシルバー人材センターを通じた高齢人材を活用することが掲げられており、当センターでも新たな事業展開といたしまして、昨年5月から派遣事業がスタートいたしました。

これらを契機に、本年も今まで以上に積極的なセンター運営に取り組んで参る所存でございますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

結びに、当たり前の風景が当たり前に見られる喜び、当たり前の生活が当たり前にできる幸せを感じこの一年、笑顔で健康に過ごせますことをご祈念申し上げまして新年のご挨拶といたします。

新春を迎えて

勝浦市長
猿田 寿男

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

平素は福祉施策をはじめ、市政全般にわたり格別のご理解とご協力をいただき、心から厚くお礼申し上げます。

勝浦市シルバー人材センターにおきましては、活力ある高齢者社会を支える地域の中核的な組織として、就業を通じて高齢者の健康維持や社会参加に大いに寄与されるとともに、地域社会の活性化、福祉の向上にも貢献していただきまして感謝の意を表します。

さて、近年では人口減少や少子化が急速に進み、労働人口が減少していくことが危惧され、その環境の変化に合わせた新しい高齢者像として、生涯現役で活躍できる働きが切望されている中、シルバー人材センターの機能強化が求められています。

本市といたしましても、会員の皆様が豊富な知識や能力を活かし、社会を支える一員として積極的な就業、ボランティア活動、地域活動、文化教養活動など、幅広く社会に参加・貢献していただけるよう運営を支援してまいります。これからも、誰もが安心していきいきと暮らせる地域社会の実現を目指してまいりますので皆様方のお力添えをお願い申し上げます。

最後に、勝浦市シルバー人材センターの益々の発展と会員の皆様方のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

かつうら魅力市でセンターをPR

11月5日（土）に勝浦市芸術文化交流センターKüsteを会場とした「かつうら魅力市」が開催されました。

当日は、朝から悪天候で大粒の雨が降る中出店の準備をしていましたが、徐々に天候が回復し、開会式には青空が広がる絶好のイベント日和となりました。

毎年大盛況となっているB-1グランプリコーナーでは「熱血!!勝浦タンタンメン船団」「浪江焼麺太国」「津ぎょうざ小学校」「久慈まめぶ部屋」が出店し、今年も大いに会場を賑わせていました。

また、今年は海上保安庁音楽隊による「勝浦灯台100周年記念特別コンサート」が行われ、心待ちにしていた来場者がたくさんいるようでした。

当センターも総務・企画部会と事務局が参加して、会員の募集のチラシやポケットティッシュを配布しセンターのPRを図りました。

PR活動を行う浅野部会長

かつうら魅力市会場風景

新会員の初仕事

入会一年未満の会員に初めて携わった仕事の感想などを伺いました。

今回は、平成28年3月入会の能條匡義さんにお願いしました。

入会のきっかけを教えて下さい。

以前、自宅裏の竹切りをセンターにお願いして切ってもらいました。

その時に作業していただいた会員さんとの会話のなかで、私もサラリーマンのかたわら植木の剪定を40年以上やっていたことをお話ししたところ、会員さんから、「シルバーには植木の剪定をする会員が少ないので入会してみてはどうですか。」と誘われたことがきっかけとなりました。

初仕事はどうでした。

初めての就業は、確か6月末頃だったと思いますが、草刈りと雑木の伐採の仕事がありまして、私もチェーンソーを使いました。作業は3人で行い、段取り良くそれぞれ分担を決めて進めたので作業がとてもスムーズにできました。

今後の抱負などありますか。

私も、趣味として植木の剪定を長くやっていましたので、細かいことでもお客様の要望に応えるようにしたいと考えています。

仕事は苦になりませんので、体の続く限りこの仕事を続けて行きたいと思いますので、これからもよろしくお願いします。

インタビューを快く受けて頂きました能條さん（総野二班）ご協力ありがとうございました。これからも健康に留意され安全就業を続けて下さい。

利用者の声

今回は、施設内の除草、農園作業、清掃業務などセンターをよく利用していただいているホテルブルーベリーヒル勝浦の小谷和己施設管理部長に作業の様子など感想を伺いました。

私共ホテルブルーベリーヒル勝浦は、太平洋を望む興津の標高約六十メートルの風光明媚な高台に位置し、総面積約二十万坪を有しております。

広大なガーデンには、客室数八十三室のホテル、レストラン、乗馬センター、農園やハーブ園などが有りまして、豊かな自然の中、従業員四十人ほどでこれらを管理運営しております。

会員の皆様には、日頃、農園、ハーブ園の植え込み内の除草、作物の世話や落葉清掃など多岐に亘りお願いしています。

単に除草一つとりましても、敷地が広く植栽も多いので四月から始まり延々と続きます。

特に、夏の炎天下、私が心配になるほど根気強く、また、作業手順など工夫しながら責任をもって綺麗に作業する姿に私も頭が下がる思いがいたします。

会員一人ひとりが私共にとりまして、欠かせないスタッフのような存在になっています。

これからの季節、増々寒くなりますので、体に気を付けていただいて、今後ともご活躍のほどよろしくお願いいたします。

刈草の収集作業を行う能條さん

枝豆の収穫作業を行う会員

ブルーベリーヒル内のレストラン

川越の旅を満喫

"バス旅行はいいですね"

小江戸川越の旅と題した親睦旅行は11月18日早朝、31名の参加により晴天の勝浦を出発しました。

車中、隣同士の話し声が聞こえ、和気あいあいのうちに最初の目的地大宮鉄道博物館に到着しました。

館内には、蒸気機関車から新幹線特急車両まで本物が数々展示され、その迫力と歴史を感じました。また、旧型特急電車の座席に座り、昭和の思い出を懐かしんでいる会員もいました。

広い館内を見学し、お腹もすいたところで昼食場所である鶴ヶ島へとバスは向かいました。

時間は午後一時を回り、懐石風の食事を済ませ一路川越へ。

川越に到着し早速蔵づくりの町並みを散策しました。

メイン通りは、平日にも係わらず観光客で溢れかえり、蔵の一軒一軒は壮観で江戸の風情を残しながら土産物店などに形を変え、店はお客さんで一杯になっていました。

会員も土産物を手に手にバスに帰ってきました。そのあと、酒造蔵を土産物店などに改修した蔵里に到着。ここで旅の証として全員で記念写真を一枚パチリ、店内へ入ると千葉県人らしくここでも土産物を買い求めていました。

旅の行程も残りは帰るだけ、車内では恒例のカラオケタイムがスタートし、お酒も程よく入り次から次へと歌が切れ目なく続きました。一方、バスは東京に入ると高速道路は事故渋滞となり予定より2時間遅れて勝浦に入りましたが、歌い手にとっては遅れが幸いしたようです。こうして楽しいひと時を過ごし、バスの旅は終了しました。

追記　旅行翌日は朝から大雨でした。

（にわか旅記者）

観光客で溢れる時の鐘周辺

展示車両を楽しく見学する会員

実際に使われた数々の車両

派遣事業に伴う「技能講習会」が開催されます

県連合会が主催する技能講習会が1月17日に勝浦市役所大会議室を会場に開催されます。

この講習会は、派遣事業の実施に伴い派遣元（県連合会）での教育訓練が法律で義務化されたことにより開催されるものです。

より多くの会員に講習を受けていただくため、既に派遣されている会員に加え希望する会員を合わせ実施することとなっています。（定員25名）また、就業に必要な能力を身につける刈払機取扱者安全衛生講習として実施され、受講修了者には労働基準法に基づいた携帯用修了証が交付されます。

前回の刈払機講習会風景

安全パトロールの実施

安全パトロールが昨年7月4日、勝浦駅前広場で実施されました。作業現場では、安全適正就業部会、安全委員会を中心に作業点検を行い、鈴木部会長からは就業会員に対し安全指導を行いました。

事故は一度起きますと取り返しがつかないことにもなりかねません。

会員の皆様には安全第一を常に心がけましょう。

なお、「安全就業だより第5号」にも関連記事を掲載しておりますので併せてご覧下さい。

安全委員による作業点検

事務局だより

就業実績、会員数の推移や事故発生状況（全国）を表にまとめました。また、昨年10月に開催されました新任事務局長研修の主な講義内容を掲載しました。

シルバーマスコット
チエブクロー

就業実績（平成２８年４月～１０月まで）

（件・人）

分　類	受託件数	延日人員	分　類	受託件数	延日人員
植木・造園工事	3	6	屋外清掃作業	231	4429
剪定	65	216	除草作業	271	1379
縫製作業	1	1	農林水産作業	5	24
建物管理	8	93	荷造・運搬作業	7	60
駐車場等管理	27	784	屋外雑役作業	4	9
販売	6	78	その他の屋外作業	1	1
屋外施設管理	7	214	屋内清掃作業	108	905
伐採作業	7	13	合計	751	8212

（１０月末現在）　前年比　受託件数 ： ９８．７％　延日人数 ： ９７．７％

地域班別会員就業状況（人・％）

地域班	登録会員数	就業会員数	就業率
勝浦１班	6	5	83.3
勝浦２班	12	6	50.0
勝浦３班	8	7	87.5
勝浦４班	3	2	66.7
勝浦５班	9	4	44.4
勝浦６班	2	2	100.0
興津１班	16	8	50.0
興津２班	4	3	75.0
興津３班	2	2	100.0
上野１班	16	11	68.8
上野２班	8	7	87.5
上野３班	11	7	63.6
総野１班	14	11	78.6
総野２班	9	6	66.7
総野３班	20	16	80.0
総野４班	7	6	85.7

平成28年10月現在

会員の推移

（人）

年　度	年度末会員数
平成１５年度	210
平成１６年度	189
平成１７年度	166
平成１８年度	152
平成１９年度	151
平成２０年度	153
平成２１年度	164
平成２２年度	159
平成２３年度	153
平成２４年度	147
平成２５年度	150
平成２６年度	153
平成２７年度	151
平成２８年度（１１月末）	149

1ヶ月～6ヶ月未満の入院及び後遺障害の事故（全国）

（件・歳）

仕事の内容			28年度	27年度	平均年齢
就業中	植木・樹木の剪定等		41	34	72
	除草作業		16	20	73
	屋内・屋外清掃作業		15	11	76
	その他		29	24	73
	計		101	89	73
就業途上	交通手段	徒歩	9	6	73
		自転車	27	18	74
		バイク	13	9	74
		自動車	5	1	70
		計	54	34	73
合計			155	123	73

※28年度・27年度の事故件数はそれぞれ4月～10月の発生件数の累計

※朱書は事故件数の比較で増加した数値

全国シルバー人材センター事業協会主催　新任事務局長研修報告

（10月6・7日　於：東京都千代田区　連合会館）

全国各地から91名の新任事務局長が集まり研修会が開催されました。講義内容のうち安全就業について、次のとおり報告します。

安全のポイント

1．誰が、何のために

生きがいをもって地域社会に貢献していく目的において、事故に遭う、事故の不安を抱えて就業することがあってはなりません。

◎自分自身が、安全を確認し、安全・安心な就業を行う。「自分の安全は自分で守る」という意識啓発、組織的に役職員、会員がお互いに安全・安心の意識向上に努めましょう。

2．事故はなぜ減らないのか、事故は他人ごとか

自分には関係ない、自分とセンターは関係ない、マンネリ化、慣れ、油断（うっかり、ぼんやり）、過信（大丈夫、もう少しだから）、安全用具の不使用などが事故の元となります。

◎残念でならないこと、なぜ、保護帽等を装着しないのか、「暑いから、メガネが曇るから、経験と体力に自信があるから」などが理由となっています。

※重篤事故（就業中）の安全帽の未着装率（2727年度）61％

※重篤事故（就業中）の安全帯の未着装率（2727年度）100％

※会員一人ひとりが高齢者であるとの自覚、安全就業基準等を忠実に遵守しましょう。

3．事故が起きた時の不幸

個人、家族、お客様、センターにとって不幸であり、家族、会員、お客様、マスコミ等に対する説明責任が生じます。

4．安全就業対策の取組

安全・適正就業部会、安全委員会、班長会議、安全パトロール、講習会・研修会、安全就業ニュースなどの活用により会員の意識啓発、レベルアップを常に図ることが重要です。

幸いにも、当センターでは、27年度以降重篤事故は起きていませんが、会員の皆様、役員及び職員は相互に安全就業に対し常に意識を持ち、各種安全就業対策に取り組む必要があります。

センターの動き

平成二十八年

七月
- 安全就業パトロール・駅前広場（4日）
- 県連合会安全・適正就業推進員研修会（7日）
- 第1回派遣事業運営協議会（14日）
- 第2回会報編集委員会（20日）
- 市長・議長に支援要望活動（29日）

八月
- 会報「あじさい」第27号発行（1日）
- 第5回理事会（4日）

九月
- 第1回事務局長会議（15日）
- 第1回地域班長会議（29日）

十月
- 第6回理事会（3日）
- 第2回総務・企画部会（3日）
- 第2回新任事務局長研修（6日・7日）
- 第3回会報編集委員会（21日）
- 市民号参加（会長・事務局長）（25日・26日）

十一月
- かつうら魅力市参加（5日）
- 親睦旅行（18日）
- 第7回理事会（29日）

地域班の再編・統合が決まりました。

各班の会員数にバラツキがあることなどから事業の円滑化を図るため、地域班を現在の16班から11班に再編・統合することが班長会議、理事会で承認されました。

新たな班として6月1日からスタートします。

地域班編成表

番号	班名	地区
1	勝浦1班	川津・沢倉・新官・部原
2	勝浦2班	勝浦・浜勝浦・出水・墨名
3	勝浦3班	串浜・松部
4	興津1班	守谷・鵜原・吉尾・松部（東急）
5	興津2班	大沢・浜行川・興津・興津久保山台
6	上野1班	台宿・上植野・上野・大森・名木・植野
7	上野2班	中里・赤羽根
8	上野3班	中島・植野（星山）・荒川・貝掛・法花・南山田・小羽戸
9	総野1班	関谷・中谷・平田・新戸・宿戸・白木
10	総野2班	白井久保・芳賀・蟹田・大楠・小松野・松野・中倉
11	総野3班	杉戸・佐野・市野郷・市野川・花里

会員募集

身近に心当たりの人はいませんか。

シルバー人材センターでは、会員を募集しております。

会員数は、減少傾向にありますので、ご近所やお知り合いで退職したがまだ働きたいという方などおりましたら是非誘って下さい。

また、こうした情報をお持ちの方は、事務局までご連絡をお願いします。

市内在住の六十歳以上の健康な方で男女を問いません。

入会者

～よろしくお願いします～

（平成二十八年六月～十一月）

江沢　貢（勝浦二班）
池田　建二（勝浦三班）
石塚　昌子（勝浦四班）
木津　道麿（興津一班）
寺尾　義和（興津一班）
鈴木　春明（上野一班）
磯野　敏松（総野三班）

（敬称略）

編集後記

昨年は、夏から秋にかけて、台風や前線による天候不順が続き、農作物などの収穫に大きな影響がありました。

今年は十二支の10番目酉年です。語源は、細口の酒壺を描いたもので「酒」に関係する文字に用いられ、収穫した作物から酒を絞る意味や収穫できる様などから「実る」を表わしています。また、酉は「とりこむ」と云われ商売などには縁起が良いとされています。

酉年にあやかり、会員の皆様には、願いが実り、福がとりこまれますようご祈念申し上げます。

「編集委員会一同」

会報編集委員会
委員長　積田　行雄
副委員長　小関　力
委員　関　茂子
松崎　己美
野村　知里
加藤せつ子
花ケ崎善一

編集・発行／一般社団法人 勝浦市シルバー人材センター
〒299-5231 千葉県勝浦市沢倉 515 番地の2 TEL 0470-70-1313 FAX 0470-73-6210 E-mail/katsuura@sjc.ne.jp